

務

五年

画数 11
筆順 マ
オ ン ム
つと川める



矛(やりの一種)の形を表した「矛」と、武器を手に持った形を表した「攴」と、努力の意味の「力」とを組み合わせて作った字です。

昔は、成人した男子は、だれでも皆、矛を手にして国のまもりにつくという「つとめ」がありました。その「つとめ」という意味を表した字です。「つとめ」や「仕事」という意味に使います。【例】義務、任務、職務、雑務。また、「つとめる」という意味にも使います。【例】勤務する、執務中。

成り立ち

使い方

▽義務(いうものは、やっかいな面もありますが、はたした時の気分はとてすつきりして、愉快です。義務をおこたると、なんだかいやな気持ちがあります。それに、義務を果たすからこそ、権利が主張できるのです。世の中に、果たす義務がなくなってしまうたら、つまらないにちがいありません。

▽世の中には色々な任務が有りますが、中には、つまらないと思われがちな雑務もあれば、つらい激務もあります。でも、「すすんで負えば重荷も軽い」と言います。どんなことも、いやと思わず、すすんでやれば、仕事は喜びのもとになるものです。

熟語例

- ▽義務(当然やらなければならない務め)
- ▽任務(その人に任された務め)
- ▽職務(職業上の任務。「職務を遂行する」などというふうに、つかいます。)
- ▽雑務(本来の仕事以外のこまごまとした務め)
- ▽激務(激しい務め。非常に忙しい、大変な仕事)

夢

五年

画数 13
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊ ㇋ ㇌
オ ン ム
ゆめ



目(目)と、夜(夜)の音(音)を組み合わせて作った字です。

「目が見えにくい人」を表した「眛」と、夜の意味の「夕」とを組み合わせて作った字です。目が見えにくい人も見ることでできるものは「夢」です。また、夜、眠っていて、目をつむったまま見ることが出来るものは「夢」です。それで、「眛」と「夕」とで、「ゆめ」を表しました。

成り立ち

使い方

▽わたしは、空を飛ぶ夢をよく見ます。ぼんと飛び上がると、そのままふわふわと体がういて、家の上をこえて進んで行くのです。手足を使うと、どんどんと高くなり、山でも川でも平気でこえて行きます。

▽初夢に「富士山」の夢をみると縁起が良いそうです。次は「たか」の夢で、三番目は「なす」の夢だそうです。

熟語例

- ▽初夢(正月になって最初に見る夢のこと。)
- ▽正夢(夢で見たことが、本当に起こった時、その夢を正夢と言います。【例】「逆夢」)
- ▽夢幻(夢や幻のように「はかない」という意味に使います。幻は、無いものが有るように見えること。また、「非現実的な感じ」のことを言います。【例】子供の絵本には夢幻的な絵が多くあります。)
- ▽夢想(夢のような非現実的なことを思うこと。とりとめもないことを心にえがくこと。空想すること。)
- ▽夢中(夢の中。ふつう、「物事に熱中して、それに心をうばわれる」意味に使います。【例】無我夢中)